

平成29年12月19日

財政援助団体等監査結果報告

[神戸ルミナリエ組織委員会]

神戸市監査委員	谷	口	時	寛
同	吉	田	基	毅
同	壬	生		潤
同	平	井	真	千子

地方自治法第199条第7項の規定に基づき実施した平成29年度財政援助団体等監査について、同条第9項の規定によりその結果に関する報告を次のとおり決定した。

1 監査の対象

神戸ルミナリエ組織委員会（以下「委員会」という。）における神戸市（以下「本市」という。）からの財政援助に係る出納その他の事務で、主として平成28年度執行の事務

2 監査の期間

平成29年8月28日～平成29年12月19日

3 監査の方法

監査は、財政援助に係る出納その他の事務が法令等に基づき適正に行われているかについて、関係書類の調査とともに、関係職員に対する質問等の方法により実施した。

4 団体の概要

(1) 設立の趣旨

委員会は、神戸ルミナリエの開催を通じ、阪神・淡路大震災により多大の被害を受けた神戸の復興のシンボルとして、震災を将来に伝えるとともに集客観光関連産業の振興に寄与することを目的としている。

平成7年の初回開催以降、神戸ルミナリエの主催団体は、地元経済界、縣市などからなる神戸ルミナリエ実行委員会であったが、平成12年4月1日に、同実行委員会の上部組織として、現在の組織委員会が設立された。組織委員会の会長は神戸市長が務め、兵庫県知事及び神戸商工会議所会頭に顧問を委嘱している。

(2) 本市との関係

① 財政援助

ア 補助金

神戸ルミナリエの開催に係る事業運営に対して補助金を交付している。平成28年度の交付額は1億736万円である。補助金の財源には、ルミナリエ会場で販売した宝くじ収益等4,000万円及び本市外郭団体等からの寄付金1,452万円等が含まれている。

(3) 事業の概要

委員会の事務局は、一般財団法人神戸国際観光コンベンション協会（以下、「協会」という。）内に設置されており、所在地は中央区港島中町6丁目9番1（神戸国際交流会館6階）である。

委員会の事業は、神戸ルミナリエの企画・立案にかかわること、設営、運営、広報にかかわること等である。

神戸ルミナリエの来場者数等の比較は第1表のとおりである。

第 1 表 来 場 者 数 等 の 比 較

項 目	平成28年度 (第22回)	平成27年度 (第21回)	対前年度 増 減	対前年度 増 減 率
会 期	12月2日～11日 (10日間)	12月4日～13日 (10日間)	—	—
来 場 者	3,253,000 人	3,256,000 人	△3,000 人	△0.1%

(4) 収支状況

委員会の収支状況は第2表のとおりである。

第 2 表 比較収支計算書

(単位 金額：千円，比率：%)

科 目	平成 28 年度		平成 27 年度		対前年度 増 減	対前年度 増 減 率	
	金 額	構 成 比 率	金 額	構 成 比 率			
収 入 の 部	協賛金	203,416	43.9	218,330	44.8	△ 14,914	△ 6.8
	補助金	133,172	28.8	130,815	26.8	2,357	1.8
	兵庫庫	25,310	5.5	26,195	5.4	△ 885	△ 3.4
	神戸戸	107,362	23.2	104,620	21.5	2,742	2.6
	その他の	500	0.1	-	-	500	皆増
	事業継続のための募	62,155	13.4	72,960	15.0	△ 10,805	△ 14.8
	一般募	46,867	10.1	55,560	11.4	△ 8,693	△ 15.6
	企業募	9,376	2.0	9,781	2.0	△ 405	△ 4.1
	グッズ売	5,910	1.3	7,618	1.6	△ 1,707	△ 22.4
	出店料収	58,810	12.7	50,500	10.4	8,310	16.5
その他の収	5,445	1.2	14,621	3.0	△ 9,175	△ 62.8	
当期収入合計 (A)	463,000	100.0	487,227	100.0	△ 24,227	△ 5.0	
前期繰越収支差額	27,890	-	8,279	-	19,610	236.8	
収入合計	490,891	-	495,507	-	△ 4,616	△ 0.9	
支 出 の 部	ルミナリエ設置運営費	370,556	79.7	373,274	79.8	△ 2,717	△ 0.7
	その他の事業費	28,675	6.2	37,879	8.1	△ 9,203	△ 24.3
	会議費	169	0.0	181	0.0	△ 11	△ 6.5
	事務費	5,401	1.2	1,291	0.3	4,110	318.4
	租税公課	3,615	0.8	1,552	0.3	2,062	132.9
出店関係費	56,257	12.1	53,438	11.4	2,818	5.3	
当期支出合計 (B)	464,675	100.0	467,617	100.0	△ 2,941	△ 0.6	
当期収支差額 (C=A-B)	△ 1,675	-	19,610	-	△ 21,285	△ 108.5	
次期繰越収支差額	26,215	-	27,890	-	△ 1,675	△ 6.0	

備考 委員会の会計年度は9月1日～翌年8月31日である。

5 監査の結果

本市からの補助金に係る出納その他の事務について監査した結果、事業は補助金の交付目的を達成し、事務処理もおおむね適正に行われているものと認められたが、事務の一部について改善を要する事例があったので、今後適正な事務処理に努められたい。

神戸ルミナリエは、震災犠牲者への鎮魂とまちの復興・再生への夢と希望を託して震災の年の12月に初めて開催され、その後も震災犠牲者の鎮魂と震災の記憶を永く後世に語り継いでいくメモリアル行事として、また冬の神戸地域の集客などを目的として継続して開催されてきた。

本市が行った市民アンケート等においては今後も継続開催を望む意見が多いが、そのためには開催のための財源になる収入を安定的に確保していくことが大きな課題である。企業からの協賛金が減少している中で、今後も企業協賛金に加え、会場での募金、Webやふるさと納税の活用など多様な手段で収入確保を図るとともに、外部委託等の契約内容の見直しや契約における競争性の一層の導入等により経費削減に努められたい。

また、本市所管局は、多数の来場者が訪れることに伴う経済波及効果が市内のより幅広い地域及び事業等に及ぶよう到来場者の回遊性向上に努められたい。

(1) 意見

① 備品管理について

委員会では、平成 28 年度に下記の備品を購入しており、また過年度から下記の備品を保有している。

しかし、備品を管理するための台帳を作成していない。備品の紛失を防ぎ効率的な管理を行うために、また事務局を務める協会の保有備品との混同を防止するために、協会の会計規程を準用するなどして、備品台帳を作成して適切に管理されたい。

(平成 28 年度購入備品)

備品	購入価格
デスクトップタイプパソコン	180,036 円
パソコンハードディスク	9,213 円

(過年度から保有する備品)

デスクトップタイプパソコン、キュービクル 4 基、募金箱、プラカード、資器材、スロープ部材、点灯式部材、その他

凡 例

- 1 文中及び表中で用いる数値は、原則として表示単位の一つ下の位以下を切り捨てている。したがって合計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 2 各表中の比率は、百分率で表示し、小数点以下第 2 位を四捨五入している。したがって合計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 3 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
「0」及び「0.0」-----該当数値はあるが、単位未満のもの。
対前年増減額及び率の場合は、零を含む。
「-」-----該当数値なし、算出不能又は無意味のもの。
「ほぼ皆増」-----増加率が 1,000%以上のもの。
「ほぼ皆減」-----減少率が 1,000%以上のもの。
- 4 文中及び各表中でいう消費税とは「消費税」及び「地方消費税」をいう。